



佐和田 **よみがえれ越の松原!**
秋の植樹ウィーク 10月29日(日)から11月5日(日)

八幡地区で「八幡・銀杏の会」主催の植樹が行われました。初日の29日は銀杏100本が植えられ、3日・4日には合わせて300本の松が銀杏の会の人たちによって植樹されました。また、5日は



「越の松原 平成の陣」と題して、朝から子供・大人あわせて200人以上のボランティアの方が松の植樹に集まりました。この日は200本の松が植樹され、道沿いにまっすぐ連なっている松の姿は爽快でした。その後、チューリップ大作戦2006も行われ、2,000鉢もあるプランターに、チューリップの球根をみんなで一生懸命植えていきました。

作業終了後は、いも煮会による恒例の八幡いもたっぶり入ったいも汁が振舞われ、新しい献立の八幡いもコロッケも加わり、みなさん舌鼓を打っていました。なんと今年は山梨県まで八幡いもの研修に行ってきたそうです。余興として「夢



咲心(ゆめさきしんわ)」の舞も披露され、食と芸能を堪能しました。近い将来、こうした地域の人達の力によって、見事な松林で知られる「越の松原」を見られる日がきっと来るに違いありません。

相川 埋蔵文化財包蔵地「佐渡金山遺跡」
現地説明会 10月28日(土)、29日(日)



佐渡金山遺跡の上相川地区は、鉱山で働く人々が暮らした江戸時代初期を中心とする標高150m～250mの高位段丘上や、斜面に立地した約20ha

の面積をもつ鉱山集落だった所です。これまで、山林、荒地となっていて本格的な調査が行われていませんでした。平成15年度から調査を始め、地形測量、地形図の作成等を行い、約12,400㎡を調査対象として、発掘調査、確認調査を実施した結果、土器や銭貨、石磨等たくさんの遺物が発見されました。こうした保存状態のよい遺構が広大な範囲に残っている鉱山集落跡は、全国的にみても類例が少なく、鉱山で働く人々の生活の一端を復元するうえで、貴重な資料だということです。そこで今回、大勢の人に見てもらおうと、現地説明会が行われたものです。この2日間で約200名の方が参加しました。



相川 **好天に恵まれた秋季高千家畜市場**
11月2日(木)

今年最後の高千家畜市場が開催されました。子牛の上場頭数は133頭で、どの牛も資質、体重、体高とも優れ、高価格で取引されています。



畜産農家は最後の餌を与え、嫁に出すような思いで入念にブラシをかけ、子牛との別れを惜しんでいました。

前日行われた、子牛共進会雌の部で見事最優秀賞を勝ち取った織田貢さん(片野尾)は、「どうだ、りっぱな牛だろう。」と自慢げに笑みを浮かべていました。雄の部では蛇ノ目孝至さん(羽茂本郷)が最優秀賞を、団体賞は小田チームが勝ち取りました。



最優秀賞の織田貢さん

新穂 **電動スクーター贈呈式**
11月2日(木)

昨年まで佐渡で活躍されていた泉椿魚氏より、新潟県佐渡トキ保護センターへ電動スクーターが寄贈され、関係者出席の中、新穂トキのむら元気館で贈呈式が行われました。

このスクーターの外見は街で普通に見かけるものと同じですが、バッテリー・モーターを動力源としているため排気ガスも騒音もないことが特徴です。これからトキの野生復帰を目指し、自然との共生を図る佐渡にピッタリだということで今回のご好意となりました。

県では、この環境に負荷をかけない、静かであるという特徴を生かして新穂正明寺地区に来春完成するトキ順化センターでエリア内の巡回などに活用するそうです。



青い車体が眩しい!



羽茂 第22回南佐渡防火駅伝大会が 開催されました 11月11日(土)

秋の火災予防運動週間の活動の一環として南佐渡消防駅伝大会が開催されました。

南佐渡消防署では火災予防思想の啓蒙と地域住民の交流を目的に毎年、南佐渡防火駅伝大会を開催しています。

今年も学生、地元の事業所などから計34チームが出場しました。選手たちは赤泊港をスタートして小木支所を經由しゴールの南佐渡消防署までの6区間約26kmを走ります。当日は、雨が降り気温も低くコンディションの悪い中、いつもよりペースを落とす人、快調に走る人とさまざまですが、選手たちは沿道の声援を受けて、タスキをつないでいきます。これから冬が本格化していくとストーブを使う機会が増えます。燃えやすいものから離れた位置で使用し、そばを離れるときは必ず火を消すなど扱いには十分注意をしましょう。

選手の皆様、声援をおくってくださいました皆さん、本当にお疲れ様でした。



おつかれさまでした



あとは任せた

両津 フリーマーケットで大賑わい (リョウツ・デ・フェスタ)11月3日(金)

さわやかな秋晴れの中、夷中心街で「リョウツ・デ・フェスタ」が開催されました。この催しは「島内最大級のフリーマーケット」ということで、今年も家族や気の合う仲間などが集まり多くのお店が出店され、古着や食べ物、植物、雑貨など様々な物が販売され道行く人を楽しませていました。

また、フリーマーケット以外にも、社会福祉協議会による募金活動、市によるジェット機誘致活動などもあり、様々な団体がPR活動を行っていました。



会場は大変な賑わいです



募金をよろしくお願いします

な団体がPR活動を行っていました。

今年は天候に恵まれこともあり、会場は掘り出し物を求めてきた人でごった返し、歩くのが精一杯なほど多くの人で賑わいました。

金井 防災を考えるイベントが 行われました 11月12日(日)

11月9日～11月15日まで行われた「秋の火災予防運動」の一環として、市役所駐車場および、金井コミュニティセンターを会場に、「消防ふれあい広場2006」が行われました。

当日は、消火器訓練、救急訓練などの防災コーナーと、はしご車乗車体験、ストラックアウトなどのちびっ子コーナーが設けられ、多数の親子連れで賑わいました。

普段生活するうえで大切な事でも、なかなか経験する事のできない訓練や体験を通して、防災意識の高揚を図る事ができました。普段からの心がけと定期的な訓練



で、慌てずに災害に対応する事ができます。今一度、防災への準備を確認してみませんか。

「消さないで あなたの心の 注意の火。」

畑野 第12回 猿八山の市開催 11月12日(日)

猿八集会場(旧猿八分校)鳥越文庫前にて「第12回猿八山の市」が開催されました。

当日はあいにくの天候となってしまいましたが、会場には朝早くから大勢の人々が訪れ賑わいました。

各出店では猿八の人達が丹誠込めて育てた新鮮な野菜や、手作りのパンなど様々なものが販売されており、中には抱えきれない程の野菜などを買い込んでいるお客さんも見られ大盛況でした。



また寒い日だったこともあり、煎れたての珈琲や温かいぜんざいを食べさせてくれる店も好評で多くの人が集まっていました。



赤泊 元気を補充 赤泊地区社会福祉大会 11月18日(土)

赤泊地区社会福祉大会が赤泊総合文化会館を会場に開催されました。

主催者挨拶・来賓祝辞の後、赤泊小学校から2名、川茂小学校から2名の児童による作文発表がありました。自分のおばあちゃんのことを書いた作文を、ちょっと恥ずかしそうにしながらも、誇らしげに堂々と発表しました。また、体調不良で欠席したお姉さんの代わりに弟が代読して大きな拍手を受ける場面もありました。その後のお遊戯発表では、お孫さんや近所の保育園児がステージに立つと、目を細めて声援を送り、「赤泊が大好き～みんなで元気づけろ～」と題した記念講演では、軽く体を動かしながらの講演を、楽しみながらも真剣に聞いていました。



ぎゅ～っと握ってバツと放す



社協役職員による阿波踊り

昼食後のアトラクションには、よさこいや歌謡ショー、ちんどん屋が登場し盛り上げましたが、特に社会福祉協議会赤泊支所役職員による阿波踊りには歓声が上がリ、テンポの良い音楽に会場も一緒に身振り・手振りで盛り上がりました。

畑野 畑野ふるさと特産まつり 11月15日(水)

畑野農村環境改善センター前にて「畑野ふるさと特産まつり」が開催されました。

昨年度までは「ふるさと特産健康まつり」として行われてきたイベントでしたが、今年は特産部門のみでの開催となりました。平日の開催ということもあり、客足が心配されましたが、イベントが始まるとたくさんの人々が訪れ盛況となりました。



会場では、畑野地区の様々な団体が集まり、農作物・海産物加工品などといった地場産品の展示販売が行



われました。また沖汁の無料サービスや餅つきイベントなども開催され、アツアツの沖汁やつきたての餅が集まった人達にふるまわれました。

金井 日本の伝統楽器にふれよう 「小鼓教室」が行なわれました。11月20日(月)



和楽器に親しみ、伝統文化について興味を深める目的で「小鼓教室」が金井能楽堂で行なわれました。講師に大倉流小鼓方宗家の大倉源次郎さんを招き、金井小学校、中学校の学生総勢65名が参加しました。小鼓の歴史から始まり、実際の小鼓の持ち方、打ち方が大倉さんから丁寧に説明され、参加した学生さんは班に分かれて順番に「ヨオ」「ホオ」などの掛け声とともに、小鼓を打ちました。

本教室は「生田コレクションから知る小鼓の世界」という取り組みの一環で行われました。真野新町出身でアサヒビール設立に尽力した生田秀さんが集めた小鼓コレクションについて知り、佐渡が輩出した人物について知る試みです。

主催 佐渡文化財研究所
共催 佐渡の能を講る会



真野 『静山大文化祭』 ～静平・静山の里～ 11月19日(日)

赤泊港線『梨の木』を過ぎ、西三川線を進むと全山紅葉した中に「静山の里」があります。

ここは、廃校になった旧静山小学校を改築し、現在体験交流を目的とした簡易宿泊施設として利用しています。

この日は、地区の文化祭。版画、書道、手芸、絵手紙など地区の皆さんの力作が展示され、また、今年の公民館事業「納涼会」「救急救命講習」などの写真も併せて飾られ、訪れた人々が思い思いに鑑賞していました。

昔から版画、書道には伝統のある地区であり、今でも地区集会場を使用して、月2回の書道教室が開かれています。また、午後からは体育館を会場に数十年前の地



区運動会の様子が上映され、若い頃の自分を見つけると大きな笑い声が会場に溢れていました。

静山の里は、12月～3月は冬季休業に入ります。



小木 佐渡市健康フェスティバル・産業祭り

佐渡は仲良し大家族
～ 出会い・ふれあい・つくし愛～ 11月26日(日)

11月26日(日)小木「つくし、あゆす会館」を会場に、第3回佐渡市健康フェスティバルが開催されました。全島から集った190名のボランティアスタッフが運営にあたり、900名の来場者に笑顔で対応していました。

ぬいぐるみの歓迎を受け会場に入ると、体験コーナーで、わら細工の実践やお手玉・あんどん・縁起物の下げ紙づくりの伝統芸能が披露されていました。また、つくし会場では、入浴介護の実演指導が行われ、来場者は真剣な眼差しで見学していました。

会場内では、販売コーナーの活気に満ちたやりとりや、元気茶屋の健康品(煮しめ・ジュース)の試食も楽しむことができました。午後からは小獅子舞などの、小木地区の伝統芸能などが披露され、大盛況の内に終了しました。



健康フェスティバル

また、同日小木地区産業祭りが、小木体育館で開催されおり、地物や姉妹・夫婦・友好都市からの特産品販売も、両会場の相乗効果とお天気に恵まれ、例年以上の盛り上がりを見せていました。

羽茂 第3回うみやあもん祭りが開催されました。11月23日(祝)

羽茂産農産物のPRと消費拡大を目的に、第三回うみやあもん祭りがJA羽茂本所周辺で開かれ2000人ほどが会場を訪れました。



おけさ柿品評会

羽茂産のおけさ柿やお米をはじめ、手作りお菓子や陶器などの民芸品などの展示即売や品評会がおこなわれました。いくつかの模擬店は、順番待ちができるほど人気をよんでいました。なかでも大崎ソバの会の模擬店では店内が全席埋まる繁盛振りで店員は対応に追われていました。また、羽茂体育館のステージではアイドルグループのミニライブや地元伝統芸能の発表が行われ会場を賑わせていました。



このイベントを通し羽茂産の農産物をもっと馴染み深いものになってほしいものです。

真野 新型『小型ポンプ積載車』に入れ替え

～西三川地域～ 11月26日(日)

真野支所管内では、今年1年大きな火災、水害、地震等の災害は発生しておりませんが、いつどんな災害が起こるとも限りません。日頃からの訓練や機材の点検を行い、何時でも対応できる態勢を取っておくことが重要です。



今回、西三川地域に、新型「小型ポンプ積載車」に入れ替えすることになり、支所前において、地域の各区長さん並びに消防団員の皆さんの出席のもとに受納式が行われました。積載車を受納後、早速参加した消防団員全員でポンプ車の取扱訓練に精を出しておりました。

師走の時季を迎え、益々寒くなって来ましたが、ストーブ等の取扱いなど火の後始末にはお互い注意したいものです。また、10月29日(日)に開催した佐渡市真野地区防災訓練には、豊田地区の皆さんの協力を得て、無事終了することができました。大変ありがとうございました。



新穂 にいぼ地区展開催 11月25 26日(土、日)

「にいぼ地区展」が新穂体育館などを会場に開催されました。

25回を数えるこの地区展は、絵画や版画をはじめ生け花、菊、盆栽、短歌・俳句や小中学生の作品など多彩な芸術、文化活動の成果発表の場として定着しています。

今年は1000点を超える出品作品が展示され、天候にも恵まれて大勢の人たちが来場し鑑賞しました。



また、集会室につくられた茶室では、茶道クラブによるお茶のサービスがおこなわれ、鑑賞を終えた方がゆっくりとお茶を楽しんでいかれました。

ちょっと緊張気味です